



令和元年12月13日

各 位

会 社 名 東洋インキＳＣホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 北川 克己
(コード番号 4634 東証第1部)
問合せ先 専務取締役財務担当 青山 裕也
(TEL 03-3272-5731)

**(訂正)「平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、平成29年11月7日に開示いたしました「平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(令和元年12月13日)付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社
コード番号 4634 URL <http://schd.toyoinkgroup.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 克己
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務担当 (氏名) 青山 裕也
四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3272-5731
平成29年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	135,598	1.9	9,514	8.2	9,971	27.9	7,416	43.2
29年3月期第2四半期	133,113	△5.6	8,790	5.6	7,799	△9.4	5,180	△6.2

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 11,270百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △6,590百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	25.40	25.38
29年3月期第2四半期	17.49	17.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	372,555	225,934	58.9
29年3月期	364,066	216,979	57.9

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 219,272百万円 29年3月期 210,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
29年12月期	—	8.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	—	16,300	—	16,600	—	10,000	—	34.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年6月29日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、平成29年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間となる平成29年12月期は、3月決算であった当社及び国内連結子会社につきましては、平成29年4月1日から平成29年12月31日の9ヶ月間を連結対象期間としております。なお、12月決算である海外連結子会社につきましては、従来通り、平成29年1月1日から平成29年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。

[参考]

以下の%表示(調整後増減率)は、当社及び国内連結子会社の前期業績を9ヶ月(平成28年4月1日から平成28年12月31日)として調整した金額を当期業績予想と比較した増減率です。

売上高 235,000 2.7% 営業利益 16,300 5.0% 経常利益 16,600 7.3% 親会社株主に帰属する当期純利益 10,000 19.6% (単位: 百万円)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	303,108,724 株	29年3月期	303,108,724 株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	11,176,577 株	29年3月期	11,163,641 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	291,939,769 株	29年3月期2Q	296,282,044 株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は平成29年11月7日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済の状況は、米国では個人消費に支えられて回復が続きましうえ、中国を始めとするアジア諸国でもスピードは鈍りながらも成長が継続しています。しかし、政治や金融市場、地政学的なリスクに伴う景気の下振れ懸念も残っており、依然として先行き不透明感が広がっています。また我が国でも、景気は回復傾向にあるものの、個人消費の伸び悩みが続いています。

当企業グループの事業環境においても、需要の伸び悩みや原材料価格の上昇などの厳しい環境が続いていますが、当企業グループは「すべての企業活動におけるバリューチェーンの拡張による新たな成長戦略の実現」、「革新を意識した視点でのモノづくりによるSCM（サプライチェーン・マネジメント）の進化」、「経営基盤（経営資源、ガバナンス）の見直しによる風土変革の促進」を方針として掲げ、各事業を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,355億98百万円（前年同期比1.9%増）と増収になりましたうえ、営業利益は95億14百万円（前年同期比8.2%増）、経常利益は99億71百万円（前年同期比27.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億16百万円（前年同期比43.2%増）と、それぞれ増益になりました。

報告セグメントのそれぞれの業績につきましては、次のとおりです。

① 色材・機能材関連事業

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、最終商品である高品位大型テレビの需要が堅調に推移し、スマートフォンの需要も回復してきました。また、中国や台湾での拡販も実ってまいりました。

汎用顔料は、国内ではオフセットインキ用を中心に低調に推移しましたが、中国などで塗料やプラスチック用などの拡販が進みました。

プラスチック用着色剤は、国内では飲料キャップやトイレットリー容器用などが堅調に推移し、中国や東南アジアでの事務機器向けも回復しましたが、欧米の自動車向けは予想外に低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は347億20百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は34億12百万円（前年同期比140.4%増）と、増収増益になりました。

② ポリマー・塗加工関連事業

塗工材料では、電磁波シールドフィルムが伸び悩みましたが、一方で高品質のスマートフォン向け導電接着シートなどの拡販が進みました。また、エレクトロニクス関連の粘着フィルムの拡販が進みましたうえ、昨年7月に業務を開始しました貼付型医薬品事業も、堅調に推移しました。

接着剤は、食品などの包装用が、国内、韓国、東南アジアなどで好調に推移しました。粘着剤は、国内や韓国でエレクトロニクス用の拡販が進みましたが、ラベル用が伸び悩みましうえ、原材料価格の上昇により利益が圧迫されました。

缶用塗料（フィニッシュ）は、コーヒー缶用の低調が続きましたうえ、ビール缶用も夏場の天候不順で伸び悩みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は297億80百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は32億39百万円（前年同期比1.4%増）と、増収増益になりました。

③ パッケージ関連事業

国内のグラビアインキは、出版用の需要減少が続きましたが、主力の包装用がプライベートブランドやコンビニエンスストア向けを中心に堅調に推移しましたうえ、建装材用も伸長しました。

海外では、北米や中南米、インドなどでの拡販が進みましたが、東南アジアや中国では伸び悩みましうえ、原材料価格の上昇により利益も圧迫されました。

また、グラビアのシリンダー製版事業は、包装用の一般製版が伸び悩みましうえ、特殊精密製版の拡販が進みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は318億49百万円（前年同期比0.0%増）とほぼ前年同期並みになりましたが、営業利益は12億59百万円（前年同期比20.4%減）と減益に終わりました。

④ 印刷・情報関連事業

デジタル化に伴う情報系印刷市場の縮小傾向のなか、国内では製品別にビジネス規模の最適化や絞り込みを進める一方、海外ではグローバルな拠点拡充による売上拡大を進めました。また、最先端技術を活用した高感度UVインキや、オンデマンド印刷対応のインクジェット用インキなどの開発や拡販を、ビジネス拡大に繋げてまいりました。

一方、国内におけるチラシなどの商業印刷や新聞、雑誌などの既存の情報出版向けのインキや、関連材料の需要は予想以上に低調に推移しました。また、中国や東南アジアにおいても、景気の減速や環境規制に伴う印刷会社の稼働率低下により、売上が低迷しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は390億41百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は13億21百万円（前年同期比16.3%減）と、減収減益に終わりました。

⑤ その他

上記のセグメントに含まれない事業や、東洋インキSCホールディングスなどによる役務提供などを対象にしていますが、売上高は30億73百万円（前年同期比3.2%増）と増収になりましたものの、ホールディングスでのグローバル統合システム開発費用の増加などにより、営業利益は2億94百万円（前年同期比71.1%減）と減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産の当第2四半期連結累計期間末残高は3,725億55百万円で、前連結会計年度末残高より84億89百万円増加しました。負債は1,466億21百万円で、前連結会計年度末残高より4億65百万円減少しました。純資産は2,259億34百万円で、前連結会計年度末残高より89億54百万円増加しました。

当第2四半期会計期間末日は、国内が休日であった影響もあり、売掛金及び買掛金がそれぞれ増加しました。また、国内の株価上昇を反映し、投資有価証券及び繰延税金負債並びにその他有価証券評価差額金も、それぞれ増加しました。なお、借入金返済期限の到来にあたり、一部自己資金を充当し、減額して借り換えましたため、短期借入金が増え、長期借入金が増えました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の四半期末残高は、期首残高より7億42百万円増加し、448億75百万円となりました。

営業活動により得られた資金は116億15百万円（前年同期比34億20百万円増）となりました。税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加や、法人税等の支払いによる資金の減少などがありました。

投資活動により使用した資金は28億27百万円（前年同期比29億31百万円減）となりました。有形固定資産の取得による支出などがありました。

財務活動により使用した資金は78億49百万円（前年同期比49億47百万円増）となりました。借入金の返済や配当金の支払いによる支出などがありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年12月期の通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,903	45,580
受取手形及び売掛金	89,049	90,552
有価証券	116	496
商品及び製品	27,228	27,638
仕掛品	1,279	1,474
原材料及び貯蔵品	13,963	15,253
繰延税金資産	1,908	1,816
その他	3,852	4,091
貸倒引当金	△1,086	△1,080
流動資産合計	181,214	185,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	98,960	99,004
減価償却累計額	△58,320	△59,088
建物及び構築物(純額)	40,639	39,915
機械装置及び運搬具	147,205	148,069
減価償却累計額	△122,081	△123,797
機械装置及び運搬具(純額)	25,124	24,272
工具、器具及び備品	23,734	23,790
減価償却累計額	△20,907	△21,088
工具、器具及び備品(純額)	2,827	2,701
土地	30,003	29,855
リース資産	617	673
減価償却累計額	△420	△463
リース資産(純額)	196	209
建設仮勘定	2,607	2,515
有形固定資産合計	101,398	99,469
無形固定資産	4,487	4,294
投資その他の資産		
投資有価証券	66,718	72,451
退職給付に係る資産	5,927	6,190
繰延税金資産	833	825
その他	3,904	3,931
貸倒引当金	△419	△432
投資その他の資産合計	76,964	82,967
固定資産合計	182,851	186,731
資産合計	364,066	372,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,588	53,089
短期借入金	30,660	20,007
未払法人税等	3,088	2,127
その他	14,175	14,484
流動負債合計	97,513	89,709
固定負債		
長期借入金	33,262	38,683
繰延税金負債	10,884	12,759
環境対策引当金	2,504	2,377
退職給付に係る負債	1,865	1,968
資産除去債務	29	29
その他	1,027	1,095
固定負債合計	49,573	56,912
負債合計	147,087	146,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,918	32,710
利益剰余金	130,496	135,577
自己株式	△4,992	△5,000
株主資本合計	190,155	195,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,726	22,080
為替換算調整勘定	1,144	549
退職給付に係る調整累計額	1,653	1,622
その他の包括利益累計額合計	20,525	24,252
新株予約権	95	165
非支配株主持分	6,202	6,496
純資産合計	216,979	225,934
負債純資産合計	364,066	372,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	133,113	135,598
売上原価	101,313	102,702
売上総利益	31,800	32,895
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,162	3,090
給料及び手当	5,907	5,901
賞与	1,363	1,373
福利厚生費	1,498	1,510
減価償却費	792	928
研究開発費	1,389	1,747
その他	8,895	8,829
販売費及び一般管理費合計	23,009	23,381
営業利益	8,790	9,514
営業外収益		
受取利息	94	94
受取配当金	537	562
持分法による投資利益	29	146
その他	216	281
営業外収益合計	878	1,085
営業外費用		
支払利息	469	470
為替差損	1,215	0
その他	184	157
営業外費用合計	1,869	628
経常利益	7,799	9,971
特別利益		
固定資産売却益	11	237
投資有価証券売却益	4	340
段階取得に係る差益	14	-
特別利益合計	30	577
特別損失		
固定資産除売却損	154	104
投資有価証券評価損	139	-
その他	7	-
特別損失合計	301	104
税金等調整前四半期純利益	7,528	10,444
法人税、住民税及び事業税	2,049	2,672
法人税等調整額	9	131
法人税等合計	2,059	2,804
四半期純利益	5,468	7,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	287	223
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,180	7,416

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,468	7,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△818	4,354
為替換算調整勘定	△10,559	△582
退職給付に係る調整額	△185	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△495	△110
その他の包括利益合計	△12,058	3,630
四半期包括利益	△6,590	11,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,886	11,143
非支配株主に係る四半期包括利益	△703	127

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,528	10,444
減価償却費	5,039	5,090
のれん償却額	150	77
受取利息及び受取配当金	△631	△657
支払利息	469	470
持分法による投資損益(△は益)	△29	△146
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△234
有形固定資産除却損	60	51
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△340
投資有価証券評価損益(△は益)	139	-
段階取得に係る差損益(△は益)	△14	-
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△0	△127
売上債権の増減額(△は増加)	△739	△1,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△774	△2,060
仕入債務の増減額(△は減少)	1,514	4,713
その他	△2,186	△607
小計	10,516	15,011
利息及び配当金の受取額	650	681
利息の支払額	△468	△491
法人税等の支払額	△2,502	△3,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,195	11,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△193	△225
定期預金の払戻による収入	488	322
有形固定資産の取得による支出	△5,284	△3,656
有形固定資産の売却による収入	23	604
無形固定資産の取得による支出	△321	△215
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△17	△275
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	31	749
その他	△485	△132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,759	△2,827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	999	1,427
長期借入れによる収入	-	6,000
長期借入金の返済による支出	△308	△12,832
自己株式の取得による支出	△1,040	△8
配当金の支払額	△2,385	△2,335
非支配株主への配当金の支払額	△74	△11
その他	△91	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,901	△7,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,938	△196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,404	742
現金及び現金同等物の期首残高	43,744	44,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,339	44,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	30,815	28,195	31,549	40,447	131,007	2,105	133,113	—	133,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,326	887	295	38	2,548	872	3,420	△3,420	—
計	32,142	29,083	31,845	40,485	133,556	2,978	136,534	△3,420	133,113
セグメント利益	<u>1,419</u>	3,194	1,581	1,577	<u>7,773</u>	1,018	<u>8,792</u>	△1	<u>8,790</u>

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	33,521	29,263	31,551	39,019	133,356	2,241	135,598	—	135,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,198	517	297	22	2,036	831	2,867	△2,867	—
計	34,720	29,780	31,849	39,041	135,392	3,073	138,466	△2,867	135,598
セグメント利益	<u>3,412</u>	3,239	1,259	1,321	<u>9,232</u>	294	<u>9,527</u>	△12	<u>9,514</u>

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。